

特定非営利活動法人福井地域環境研究会 第五回総会開催

第五期 役員・予算案議

REF 第五回総会が七月八日(土) 織協ビルで行われ、約三十名の出席を得て、新役員・新予算などの議決のほか、新役員による今期の活動報告が表明された。

総会では、宮本好昭氏からの挨拶があり、続いて、国士館大学理工学部理工学科の寺内義典教授による「世田谷の住民参加とまちづくり」と題して講演会が行われた。その後、各分科会による研究報告があり、川本義海総務理事による第四期(通算第三十七期)活動報告、田辺毅総務幹事による新入会員紹介及び会員等異動報告の後、議事に移った。

その後議長(加藤式男氏)の進行の下、決算報告、予算案、役員改選、規約改定などの議決を行った。また、次期の活動方針として新幹事による各活動への決意表明がなされた。



宮本氏のあいさつ



寺内氏による講演会

その後会場を移し、懇親会が開かれた。和やかな雰囲気の中、懇親会は進み、会員相互の交流を深めた後、閉会した。

第五期役員(敬称略)

(任期 平成二十九年六月一日〜平成三十年五月三十一日)

理事	理事長(研究分科会)	加藤 哲男	デルタコンサルタント
	副理事長(現地調査)	宮本 好昭	日本ビーエス
	広報	稲葉 隆夫	日本ビーエス
	総務	川本 義海	福井大学
	財務	川本 義海	福井大学
		稲葉 隆夫	日本ビーエス
幹事	現地調査	木村 晃規	県港湾空港課
	談話会・講演会	南 克昌	県河内川ダム建設事務所
	広報	梅田 祐一	デルタコンサルタント
	総務	山内 崇史	県敦賀土木事務所
	財務	田辺 毅	県都市計画課
		清水 健	県河川課
研究分科会部門幹事	(交通)	吉村 朋矩	福井工業大学
	(地象)	小林 孝彰	県敦賀港湾事務所
	(水)	斉藤 重人	県土木部
	(県境道路)	橋本 拓己	東京コンサルタンツ
	(道路交通安全)	嶋田 喜昭	大同大学
支援幹事		玉村 美樹	福井大学大学院
		森 智生	福井大学大学院
		橋本 栄治	前田建設工業
監事			

平成29年度 活動予算書(案)

平成29年6月1日から平成30年5月31日まで
 特定非営利活動法人 福井地域環境研究会
 (単位:円)

科目	金額	金額
I 経常収益		
1 受取会費	852,000	930,000
正会員受取会費		
賛助会員受取会費	78,000	
2 受取助成金	0	0
受取助成金		
受取助成金等		
受取助成金		
3 事業収益	210,000	210,000
研修事業収益		
その他収益		
受取利息	50	
雑収益		
経常収益 計	1,062,000	1,140,000
II 経常費用		
1 事業費	0	0
(1) 人件費		
人件費 計		
(2) その他経費	100,000	450,000
会費材料		
経費交通費	252,000	
会議費	380,000	
通信費	30,000	
通信運搬費	20,000	
消耗品費	20,000	
その他経費	1,288,000	
事業費 計	1,288,000	1,288,000
2 管理費	0	0
(1) 人件費		
人件費 計		
(2) その他経費	36,000	16,000
経費交通費	16,000	
会議費	20,000	
通信運搬費	10,000	
消耗品費	0	
その他経費	80,000	
管理費 計	36,000	32,000
経常費用 計	1,324,000	1,320,000
当期経常増減額		-220,900
III 経常外収益	0	0
経常外収益		
経常外収益 計		
IV 経常外費用	0	0
経常外費用		
経常外費用 計		
当期経常増減額		-220,900
前期繰上利益剰余金		2,909,443
当期繰上利益剰余金		0
当期繰上利益剰余金		2,909,443

平成28年度 活動決算書

平成28年6月1日から平成29年5月31日まで
 特定非営利活動法人 福井地域環境研究会
 (単位:円)

科目	金額	金額
I 経常収益		
1 受取会費	775,000	835,000
正会員受取会費		
賛助会員受取会費	60,000	
2 受取助成金	0	0
受取助成金		
受取助成金等		
受取助成金		
3 事業収益	130,000	130,000
研修事業収益		
その他収益		
受取利息	49	
雑収益		
経常収益 計	905,000	965,000
II 経常費用		
1 事業費	0	0
(1) 人件費		
人件費 計		
(2) その他経費	84,599	87,865
会費材料		
経費交通費	237,202	
会議費	414,857	
通信費	29,485	
通信運搬費	20,724	
消耗品費	674,911	
その他経費		
事業費 計	674,911	674,911
2 管理費	0	0
(1) 人件費		
人件費 計		
(2) その他経費	12,203	1,800
経費交通費	1,800	
会議費	16,200	
通信運搬費	404	
消耗品費	30,517	
その他経費		
管理費 計	30,517	30,517
経常費用 計	705,428	705,428
当期経常増減額		259,572
III 経常外収益	0	0
経常外収益		
経常外収益 計		
IV 経常外費用	0	0
経常外費用		
経常外費用 計		
当期経常増減額		259,572
前期繰上利益剰余金		46,401
当期繰上利益剰余金		2,169,844
当期繰上利益剰余金		2,636,315

第五期(通算第三十八期)予算(平成二十九年六月一日〜平成三十年五月三十一日)

第四期(通算第三十七期)決算(平成二十八年六月一日〜平成二十九年五月三十一日)

【分科会報告会】

総会に先立ち、第四期の分科会活動報告が開催された。今回は五分科会から、「歩行者・自転車を取り巻く環境に関する研究」、「福井の地名から学ぶ防災・減災について」(福井市東藤島地区)、「屋外橋梁博物館へ行こう!」(水辺に浮かぶ土木遺産)、「県境地域の現地調査と地域分析について」、「道路交通の安全性に関する文献調査研究」と題してそれぞれ研究成果が報告された。今後、福井のみならず全国的に問題となってくる題材を取り上げ、REFFらしい報告が行われた。以下に簡単な研究の要旨と議論された内容について掲載する。

【交通文科会】

発表者 山田 将大 氏
講評者 田辺 毅 氏

「歩行者・自転車を取り巻く環境に関する研究」

歩行者・自転車を取り巻く環境は、国土交通省による国土のランドデザイン2050において、具体的な方策の例が挙がっている。

交通分科会では、歩行空間や自転車の利用環境、シェアサイクルの運営方法や、買い物等での日常生活・観光目的での利用の促進に関して、現地調査および資料・文献調査によって探ることとする。

今回は、まず高校生の自転車利用と通学実態について自転車を利用する高校生の通学実態に関する調査報告を行い、自転車利用者の交通法規違反行動の実態、通行位置に関して知見を得た。次に、自転車と通行空間の歴史について自転車の歴史と近年の動向を調査し、自転車の走行環境について知見を得た。最後に、現地調査として岡山市の自転車通行空間整備後を調査し、自転車と歩行者の空間が分離されていることが分かった。今後は、さらに調査を深めることとしたい。

【地象分科会】

発表者 梅田 祐一 氏
講評者 吉村 朋矩 氏

「福井の地名から学ぶ防災・減災について」

～福井市東藤島地区～

地名は地形を読み解く要素である。過去にどのような地形であったのか、またどのような災害が起こりうるのか、災害リスクを把握するのに地名は有用である。

昨期は、福井市街地の西、日野川と足羽川に挟まれた地域を現地調査した。今期は福井市東藤島周辺を対象とした。

地形的特徴として九頭竜川が山間部から平野部へ流れ込んでくる位置にあたり扇状地となっている。郷土史として部落の起源や地名の由来を調査した。なお、九頭竜川は「崩川」を由来の一つとしており、地名に関して水との関連も見られた。そこで、災害に関連する地名を全国規模で調査し、災害(主に水害)を暗示する地名であることも分かった。そのほかに、部落に多い名字を調査した。

最後に、地名や名字の由来という伝承と実際の地形を地形判読にて確認、さらに現地調査を実施して、福井市東藤島地区の災害に関連する歴史や地名について考察し、地名と水害の関連性を把握した。



発表:山田氏 講評:田辺氏



発表:梅田氏 講評:吉村氏

【水文文科会】

発表者 嶋田 良和 氏
講評者 長谷川 博次 氏

「屋外橋梁博物館へ行こう!」

～水辺に浮かぶ土木遺産～

油坂峠道路から和泉地区に至る国道158号には、ダム建設に伴う付け替え工事時に様々な形式の橋梁が架けられている。中部縦貫自動車道の開通により、国道158号の交通量が大幅に減少することが見込まれ、特徴ある様々な橋梁を土木遺産として見学する構想に着目して調査した。

20基を超える対象橋梁のうち、①橋梁上部工の形式が異なること、②100mを超える橋梁であること、③橋梁全景を眺める視点場を有すること、の3点を対象とし、霧降橋(大野市湯上)、大谷橋(大野市大谷)、箱ヶ瀬橋(大野市箱ヶ瀬橋)、面谷橋(大野市大谷)、勝山橋(勝山市遅羽町千代田)とした。

橋梁周辺の特徴として、交通量は大型車の交通量が多いが今後は減る見通しであること、または駐車スペースが十分にあることなどが確認された。

霧降橋は、九頭竜川に架かる上路式のアーチ橋。大谷橋は、此の木川に架かる下路式のランガー橋である。箱ヶ瀬橋は、九頭竜湖に架かるトラス吊橋である。本州四国連絡橋の実験橋として有名である。面谷橋は、面谷川に架かる下路式の曲弦トラス橋である。なお、面谷川の上流には、面谷鉾山と言われる銅山があり、栄えた集落があった。現在は集落跡のみである。勝山橋は、九頭竜川に架かる下路式のローゼ橋である。荒島岳や大日峠の願望を損なわないように景観設計が行われた。

今後は、対象とした橋梁を取り巻く環境の変化にも注目していきたい。

【県境道路分科会】

発表者 橋本 拓巳 氏
 講評者 林 快宗 氏

「県境地域の現地調査と地域分析について」

岐阜県との県境トンネル工事が行われている国道417号冠山峠道路および地域活性化に向けた様々な取り組みが行われている県境自治体である池田町の2点を対象とした。新たな取り組みとしてはGISを活用した。

今期は、冠山峠道路の現地調査および行政ヒアリングを池田町および国土交通省福井河川国道事務所のご協力により実施した。

県境トンネルは、福井県と岐阜県境の冠山峠付近が交通不能区間であり、交通不能区間を解消し安心・安全な交通を確保することが目的である。

池田町でのヒアリング調査では、県境道路の整備における地域への影響や県境を越えた連携施策を中心に尋ねた。その結果、①積雪時における他の行政機関との連携、②災害時の情報ネットワーク、③緊急搬送時連携に関する現状、④福井県外との連携、⑤池田町における今後の道路計画、⑥冠山峠道路整備に関する県・国との体制づくり、の6項目に整理された。

今後は、現地調査個所として県境トンネルが開通した先進事例を調査することになっている。



発表:嶋田氏 講評:長谷川(博)氏



発表:橋本氏 講評:林氏

【交通安全分科会】

発表者 三村 泰広 氏
 講評者 小林 孝彰 氏

「道路交通の安全性に関する文献調査研究」

「安全・安心なまちづくり」の中でも道路交通における“交通安全”に焦点を当て、情報技術等が発展してきた最近20年間に公表された道路交通の安全性に関する研究論文や政策・事業に関する文献をレビュー・整理することにより、今後実施すべき研究課題や施策等について検討するものである。

研究会誌・論文集における研究論文の整理については、Haddon Matrixを参考として事故分析の「段階」と「要因」のマトリクスで分類した。

各学会誌・論文集ごとに事故分析の段階と要因に着目した研究論文の分類、整理を行い、近年実施されてきた研究の特徴を捉え、マクロ的に研究課題を整理した。研究論文のレビューのまとめとして、多様な視点で研究が行われているが、自然条件・災害に関する研究は少ない状況にある。白書等により、道路管理および交通管理における政策の流れ等を把握した。

本研究は3年間に亘り、最近2年の道路交通の安全性に関する研究論文や政策・事業の文献レビューを行った。研究や政策課題の整理に不十分な点もあるが、一端終結とする。今後は、ICT技術等の進展による道路交通安全の在り方について検討する。



発表:三村氏 講評:小林氏



総評を行う稲葉氏

★入退会のおしらせ★(敬称略)

《入会》

正会員 本多 あけみ

賛助会員

玉村 美樹(学生会員)
 森 智生(学生会員)
 金井 優太(学生会員)
 石橋 孝則(学生会員)

《退会》

なし

平成二十九年七月時点

	H29.7	備考
正会員	72	入会+1 退会-0
賛助会員	36	入会+4 退会-0
計	107	

【会費の納入について】

会費の納入をお願いします。

■年会費

正会員 … 12,000円
 賛助会員 … 3,000円

■会費納入先

《振込みの場合》

ゆうちょ銀行
 振替口座 730・3・20396
 福井地域環境研究会

※機関紙巻末の振込用紙をご利用ください。

《直接支払う場合》

総会、中間報告会、談話会等開催時、または、左記、財務幹事まで直接お支払いください。

【財務幹事】

〒910-8580
 福井県福井市大手3丁目17-1
 福井県土木部河川課

清水 健

TEL 0776-20-0481(内線3393)
 Mail t-shimizu-j3@pref.fukui.lg.jp